

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
地区防災計画モデル事業	地区防災計画を作成することによる地域防災力の向上を目指し、連合町内会などの中からモデル地区を選定し、各地区の実情に合った活動(ワークショップ等)を通じて、防災意識の醸成を図りながら、段階的な地区防災計画案の作成支援に取り組む。これまでに選定したモデル地区における具体的な取組の実施についても、フォローアップを実施する。 また、区主体で実施している防災事業について、危機管理局と区が連携して地区防災計画作成に関連する事業(講演会など)を実施することで、区の防災事業の成果として地区防災計画作成につなげ、市内全地区へ取組の拡大を図る。	モデル地区へのヒアリング 講演会・ワークショップ等への参加	R6年6月～R6年7月頃 R6年8月～R7年2月頃	・R6.10.1西岡町連 ・R6.9.27東月寒町連 ・R6.12.6西岡町連防災講演会 ・R7.2.17西岡町連研修開催 ・R7.2.28西岡町連研修開催 ・R7.2.15東月寒町連防災講演会 ・R7.2.26東月寒町連研修開催	危機管理局 危機管理部 災害対策担当課 011-211-3062
	https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/chikubo/chiku.html				
行政評価 市民参加の取組	札幌市の行政評価については、事業所管部局が行う内部評価と、行政評価委員会による評価および市民参加の取組により行う外部評価で実施している。 市民参加の取組については、令和4年度まではワークショップ形式、令和5年度はHPから意見をいただく手法で実施したが、令和6年度においては行政評価制度や事業に対して広く意見をいただく意見投稿のフォームとして趣旨をわかりやすく明示した上で設置しなおした。	アンケート	R7.2月～	市民からの投稿1件	総務局行政部 改革推進室推進課 011-211-2061
	https://www.city.sapporo.jp/somu/hyoka/shimin/index.html				
外国人市民意識調査	外国籍市民のニーズや課題を調査することで、今後の施策展開に繋げる。 R4.12月にもアンケートを実施し基本方針検討会議の検討資料として活用しており、R6年度以降は隔年で実施。	アンケート	R6年8月～9月	18歳以上の外国籍市民3,000名に送付し、510名から回答受領。	総務局 国際部 国際課 011-211-2032
	https://www.city.sapporo.jp/kokusai/tabunka/isikitvousa_r6.html				
THINK&TALK ～多文化共生のまち さっぽろ～	外国籍市民から、札幌市での生活に関して直接意見を聞く場を設け、今後の市政やまちづくりに活かしていくとともに、外国籍市民の地域社会への参加を促進するもの。令和6年度は「救急車の利用について」をテーマに消防局の救急隊員と連携して実施した。	意見交換会	R7年2月16日	11か国、23名の外国籍市民が参加。	総務局 国際部 国際課 011-211-2032
	https://www.city.sapporo.jp/kokusai/gaikokusekishimin_shakaisankaku.html				
公式ホームページ利用者アンケート	市公式ホームページについての評価や問題点、改善すべき点、利用者行動等について調査し、今後のホームページの改善・品質向上及び市公式ホームページ運用システムの再構築計画に向けた材料とする。	アンケート	R6年11月～R7年3月	ホームページ、X・LINE及び市民参加 メールマガジンによりモニターを募集し、120名にアンケートを実施。95名が回答。	総務局 広報部 広報課 011-211-2036
	https://www.city.sapporo.jp/koho/hp/enq/index.html				
広報モニター 子ども広報モニター調査	広報さっぽろ、広報番組、ホームページに対する意見を定期的に送付してもらい、誌面の編集等広報活動の参考にするための調査。	アンケート	R6年4月～R7年3月	回数:12回 人数:大人47人、子ども10人 意見数:316(調査は隔月で実施)	総務局 広報部 広報課 011-211-2036
市民意識調査	施策・事業について、市民意識をきめ細かく把握したり幅広く把握したりすることで、問題の所在や将来展望についての分析を行い、施策・事業の企画・立案の基礎データとする。	アンケート	第1回:6月下旬 第2回:8月中旬 第3回:10月上旬 第4回:12月上旬	各回5,000人にアンケートを送付。 (R6年度の回答率は48.1%)	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
	https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminokoe/citi_enq/index.html				
インターネットアンケート調査	市政に関する様々なテーマについて、民間リサーチ会社のインターネットアンケートサービスを活用することにより、市民等の意識をスピーディーに把握し、迅速・的確な意思決定や政策反映に資する。	アンケート	R6年6月～R7年3月	500人アンケート×10回を実施した。	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
	https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminokoe/net_question/index.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
市長と語ろう！サッポロスマイルトーク	市民と市長がテーマについて一緒に考え、直接意見交換を行い、市政の参考とするもの。	意見交換会	第1回:8月1日	公募した市内の小学校4～6年生15名が参加した。	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
			第2回:9月28日	テーマに沿って公募した市民18名が参加した。	
			第3回:11月23日	市内の大学(院)生9名が参加した。	
https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/shitvoutokatarou/top.html					
企業家等との集団広聴事業	民間の発想を具体的な行政運営に反映させるため、各分野の企業家等と市長が直接意見交換を行う広聴事業「Meet for the Next」を開催する。	意見交換会	R6年8月～12月	対話者5人を招いた座談会を4回開催した。	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/meet_for/top.html					
市民と市長の対話事業「市長と語ろう！敬老パス」	市民と市長がテーマについて一緒に考え、直接意見交換を行い、市政の参考とすることや、市民の市政への理解や関心を深めるもの。	意見交換会	R6.11.30(※1回)	参加者170人のうち10人が発言した。	総務局 広報部 市民の声を聞く課 011-211-2045
札幌市ICT活用戦略	札幌が抱える課題を解決するためにICTを活用することで、目指すべき都市像及び未来のさっぽろの姿の実現を図るための指針として令和2年3月に改定された「札幌市ICT活用戦略2020」の計画期間が終了することから、改定する。	パブリックコメント	R7年2月～3月	計5人から12件の意見をいただいた。	デジタル戦略推進局 スマートシティ推進部 デジタル企画課 011-211-2136
		アンケート	R7年8月～10月	当課で実施しているスマホ教室事業への参加者へのアンケート用紙の配布やオンラインアンケート等を実施し、計872名から回答があった。	
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/ictplan/index.html					
第3期さっぽろ未来創生プラン	札幌市の人口減少緩和と適応のため全市的に取り組む施策をとりまとめた「第3期さっぽろ未来創生プラン」(地方版人口ビジョン・総合戦略)を策定した。	市民ワークショップ	R6年8月28日	11名が参加	まちづくり政策局 政策企画部 未来創生担当課 011-211-2338
		市民ワークショップ	R7年1月19日	43名が参加	
		パブリックコメント	R6年12月～R7年1月	270件の意見	
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/miraisousei/3rd/miraisousei.html					
札幌市水素エネルギー基本方針	将来的な水素社会を見据えた水素エネルギーの活用の方向性を示すためにH30年5月に策定した、「札幌市水素利活用方針」について、国の動向や社会情勢の変化等を踏まえR7年3月に改定を行った。	パブリックコメント	R7年1月22日～2月20日	意見提出者数:4人、件数7件	まちづくり政策局 政策企画部 グリーンTRANSフォーメーション推進室 水素事業担当課 011-211-2424
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/suiso/basicpolicy.html					
子ども向けユニバーサルデザインワークショップ	ユニバーサルデザインを学び、考えることで、他者の視点に立つ力を育む最初の一歩とすることを目的に、市内の小学4年生から6年生を対象としたワークショップを開催	ワークショップ	R7年3月2日	HP等の公募により、計25名が参加	まちづくり政策局 政策企画部 ユニバーサル推進室 011-211-2361
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/universal/universal-design/r6kodomoworkshop.html					
共生社会バリアフリーシンポジウムin札幌	共生社会の実現に向けた取り組みを共有・発信するとともに、バリアフリー施策の現状と今後などについて考え、意見を交わす機会とするためのシンポジウムを開催。	シンポジウム	R6年8月4日	会場・オンライン併せて計158名が参加	まちづくり政策局 政策企画部 ユニバーサル推進室 011-211-2361
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/universal/symposium2024.html					
「都心エネルギーアクションプラン後半期間編2024-2030」の策定	「都心エネルギーマスタープラン」(H30.3策定)の中期的な実施計画である「都心エネルギーアクションプラン」(R1.12策定)について、後半期間における具体的な取組内容を示すものとして「都心エネルギーアクションプラン後半期間編2024-2030」を策定した。	パブリックコメント	R6年4月24日～5月24日	2名から12件の意見聴取	まちづくり政策局 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課 011-211-2692
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/toshin-energy/energyplan.html					
(仮称)第3次都心まちづくり計画	より魅力的な都心の実現に向けたまちづくりを推進していくため、現行の第2次都心まちづくり計画と、都心エネルギーマスタープランを統合した(仮称)第3次都心まちづくり計画を策定する(R7年度末策定予定)。	検討会	R6年6月～R7年3月	公開で9回実施した(部会含む)	まちづくり政策局 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課 011-211-2692
		アンケート	R6年7月～R6年8月	約1,800件回収	
		街頭調査	R6年9月～R6年10月	3回実施し、260名より意見聴取	
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/plan/dai3toshinmachikentoukai.html					

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
都市計画マスタープラン、立地適正化計画、都市再開発方針	都市づくりの取組における指針である「第2次札幌市都市計画マスタープラン」及び「札幌市立地適正化計画」、再開発の方向性を示す「札幌市都市再開発方針」の見直しを実施し次期計画を策定する。	検討部会	R6年5月～R7年3月	R6年度は計6回の検討部会を実施	まちづくり政策局 都市計画部 都市計画課 011-211-2506 事業推進課 011-211-2706
		子どもアンケート	R6年9月	市内の小学生を対象に、1,530件のアンケートを回収	
		オープンハウス	R6年11月～12月	市役所本庁舎など11会場で開催し、市民から1,103件の意見を回収	
https://www.city.sapporo.jp/keikaku/info/tokeishin/ankensetsumot/documents/126tokeishin_toshimasu_sankou.pdf					
地域交流拠点等まちづくり推進事業	地下鉄宮の沢周辺地区において、まちづくりの指針の検討を進めるため、地域住民などを対象としたワークショップを開催する。	ワークショップ	R6年11月20日、R7年2月20日	地域住民や事業者、関係団体等計42名参加	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
		まち歩き	R6年12月14日	地域住民や事業者、関係団体等13名参加	
		意見公募	R6年8月～R7年3月	デジタルプラットフォーム上において、計221件の意見回答	
https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/miyanosawa.html					
地域まちづくり推進事業	住宅市街地における、地区の特性に応じた地域まちづくりを進めるため、地域住民や町内会などを対象とした勉強会やワークショップを開催する。	地域協議会(計7回)		中央区桑園第6町内会内の住民等、各回約10名参加。	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
		ワークショップ	R6年11月9日	中央区桑園第6町内会内の住民等、約300名参加。	
https://www.city.sapporo.jp/keikaku/chiiki/machidukuri/chiikimachidukuri.html					
景観計画推進事業	景観計画推進事業で行う、札幌市景観計画の見直しに関する市民の意見を取り入れるためのアンケートを実施する。	パネル展	R7年1月22日～23日	約500名来場	まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 011-211-2545
		アンケート	R7年1月22日～23日	上記のうち481名が回答	
真駒内駅前地区まちづくり推進事業	真駒内駅前地区を真駒内地域はもとより南区全体の拠点と捉え、地域課題への対応や土地利用再編の方向性について、「(仮称)真駒内駅前地区まちづくり計画」を策定すべく、地域と協議しながら検討を進める。	ワークショップ	R6年7月～R6年12月	計71名参加(5回実施)	まちづくり政策局 都市計画部 調整担当課 調整担当 011-211-2545
		審議会	R6年11月・R7年2月	5～6名が委員として参加	
		説明会	R6年9月	計42名参加(2回実施)	
https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/index.html					
もみじ台地域再構築推進事業	もみじ台地域が今後直面する、更なる人口減少・少子高齢化に伴う課題に対応するため、将来的なまちづくりの方向性を整理した「(仮称)もみじ台地域まちづくり指針」を策定すべく、地域や有識者の意見を踏まえながら検討を進める。	意見交換会	R6年4月～R7年3月	計90名参加(毎月実施、計12回)	まちづくり政策局 都市計画部 調整担当課 調整担当 011-211-2545
		アンケート	R6年11月	配布数:6,600票、回収数:1,495票	
		パネル展	R6年7月	5名からご意見等を収集	
https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/momiji/momijidai_top.html					
旧常盤小学校公募提案型売却	旧常盤小学校について、外部委員や本市職員で構成される審査委員会にて提案内容を審査の上、所定の地域貢献活動の実施を条件に売却する。	審査委員会	R7年1月	4名が委員として参加	まちづくり政策局 都市計画部 調整担当課 調整担当 011-211-2545
		意見交換会	R6年10月	13名が会議に参加	
https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/sonota/geimori-proposal.html					
SHINORO Open! meeting	篠路地区における地域主体のまちづくり活動の将来的な実践及び地域の魅力創出を目指し、令和6年度に実施する各ワーキンググループの取組の企画・検討・反省を共有する会議	ワークショップ	R6年6月26日	地域住民が17名参加し、両ワーキンググループの進捗状況を報告	まちづくり政策局 都市計画部 事業推進課 011-211-2706
食ワーキンググループ	令和5年度に引き続き、食関連の取組の企画・検討・反省を実施する、SHINORO Open!meetingのワーキンググループ	ワークショップ	R6年4月23日	地域住民が10名参加し、取組の企画・検討を実施	まちづくり政策局 都市計画部 事業推進課 011-211-2706
			R6年5月28日	地域住民が15名参加し、取組の企画・検討を実施	
			R6年6月26日	地域住民が14名参加し、取組の企画・検討を実施	
			R6年7月19日	地域住民が20名参加し、取組の企画・検討を実施	
			R6年8月6日	地域住民が17名参加し、取組の企画・検討を実施	
			R6年9月5日	地域住民が14名参加し、取組の振り返りを実施	

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
歴史ワーキンググループ	令和5年度に引き続き、歴史関連の取組の企画・検討・反省を実施する、SHINORO Open/meetingのワーキンググループ	ワークショップ	R6年4月26日	地域住民が10名参加し、取組の企画・検討を実施	まちづくり政策局 都市計画部 事業推進課 011-211-2706
			R6年5月23日	地域住民が11名参加し、取組の企画・検討を実施	
			R6年6月18日	地域住民が8名参加し、取組の企画・検討を実施	
			R6年7月11日	地域住民が11名参加し、取組の企画・検討を実施	
			R6年8月5日	地域住民が8名参加し、取組の振り返りを実施	
			R6年9月10日	地域住民が7名参加し、今後の取組の企画・検討を実施	
「札幌市地域公共交通計画」の策定	札幌市における持続可能な公共交通ネットワークを形成するための指針となる「札幌市地域公共交通計画」について、令和6年度の策定にむけて協議会の開催及びパブリックコメントを実施した。	パブリックコメント	R6年8月19日 ～9月17日	「札幌市地域公共交通計画(案)」について、パブリックコメント手続きにより、市民から意見を募集したところ、合計292件の意見があった。	まちづくり政策局 総合交通計画部 都市交通課 011-211-2492
		協議会	1回目:R6年7月24日 2回目:R6年11月14日 3回目:R7年3月6日	22名が委員として参加し、計3回会議を開催した。	
https://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/kokyokotsukyogikai.html					
手稲山口地域協議会	手稲山口地区の北海道新幹線トンネル発生土受入地への発生土の受入にあたり、工事の安全性の確認とともに、地域課題の共有を図り、住民同士の意見交換やそれに基づく活動を通じて地域の活性化に寄与することを目的として定期的に開催した。	地域協議会	1回目:R6年6月21日 2回目:R6年11月19日 3回目:R7年2月27日	3回の協議会を実施し、手稲山口地区の関係者が累計25名参加。	まちづくり政策局 総合交通計画部 新幹線推進室 新幹線推進担当課 011-211-2378
		地域づくり部会	1回目:R6年6月25日 2回目:R6年10月22日 3回目:R7年1月29日	3回の部会を実施し、手稲山口地区の関係者が累計8名参加。	
https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinkansen/torikumi/yamaguchikyougikai.html					
札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想	「丘珠空港の将来像」に掲げた「空港と周辺地域の調和と共生」の実現に向けた取組の方向性について、地域と共有した上で定めるもの。	丘珠空港周辺地域連絡協議会	R6年6月28日、 7月31日、12月9日	3回の会議を実施し、丘珠空港周辺の連合町内会関係者が累計57名参加。	まちづくり政策局 空港活用推進室 空港担当課 011-211-2357
https://www.city.sapporo.jp/shimin/okadama/rikatsuvo/shorazoisutsugen/kyogikai.html					
「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想」の策定に向けたパブリックコメント	丘珠空港周辺地域連絡協議会や地域ワークショップなどにおいて、空港周辺のまちづくりについて意見交換を重ね、目指すまちの姿や必要な取組を整理した「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想(案)」について、市民等から広く意見を募集するため、パブリックコメントを実施した。	パブリックコメント	R7年1月30日 ～2月28日	累計109件の意見が寄せられた。	まちづくり政策局 空港活用推進室 空港担当課 011-211-2357
https://www.city.sapporo.jp/shimin/okadama/rikatsuvo/kihonkousaku/kihonkousakutei.html					
「(仮称)丘珠空港周辺地域まちづくり構想」に関するワークショップ	「(仮称)丘珠空港周辺地域まちづくり構想」を策定するにあたり、空港周辺地域住民を対象に、空港及び空港周辺を含めた将来的なまちづくりに関する意見やニーズを把握するため、ワークショップを実施した。	ワークショップ	R6年7月27日、 7月28日、8月3日	ホームページのほか、丘珠空港周辺の11連合町内会向けに年数回発行している「丘珠空港ニュース」内で周知し、42名の市民が参加。	まちづくり政策局 空港活用推進室 空港担当課 011-211-2357
https://www.city.sapporo.jp/shimin/okadama/souon.html					
丘珠空港の将来像に基づく取組に関するオープンハウス	「丘珠空港の将来像」に基づき、丘珠空港の機能強化や空港と周辺地域との共生、空港の利用促進等の取組を進めており、これらの取組を発信し、取組に関する市民理解の醸成を図るため、オープンハウスを実施した。	オープンハウス	R7年1月18日、 1月25日、1月27日、 1月28日	ホームページのほか、丘珠空港周辺の11連合町内会向けに年数回発行している「丘珠空港ニュース」内で周知し、960名の市民が参加。	まちづくり政策局 空港活用推進室 空港担当課 011-211-2357
現在作成中					
道央都市圏都市交通調査協議会	道央都市圏(札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町)における望ましい交通のあるべき姿を目指して、関係機関相互により都市交通調査に関する検討及び協議を行うことを目的として、学識経験者、国、北海道、関係市町村、関係団体で構成される協議会を開催した。	道央都市圏都市交通調査協議会	R7年3月26日	36名が協議会委員として参加した。	まちづくり政策局 総合交通計画部 交通計画課 011-211-2275
https://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/pt/indexpt5.html					
さっぽろ自転車押し歩きキャンペーン	平成27年度より運用を開始した「自転車押し歩き地区」において、引き続き啓発員による自転車の押し歩きの呼びかけを行うキャンペーンを行い、市民の自転車利用のルール・マナーの向上に努める。	自転車押し歩きの呼びかけ	R6年6月～11月	延べ267人時が啓発に参加	市民文化局 地域振興部 区政課 011-211-2252
http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/cycle/cycle.html					

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画	平成21年に制定した札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例に基づき策定する安全で安心なまちづくり及び犯罪被害者等に対する支援を総合的かつ計画的に推移するための基本的な計画を改定した。	市民アンケート	R6年6月13日 ～R6年6月19日	回答数:500件	市民文化局 地域振興部 区政課 011-211-2252
		審議会	R6年6月～R7年3月	計4回実施(常任委員14名)	
		パブリックコメント	R6年11月25日 ～R6年12月24日	意見提出者数:2名1団体、意見数:13件	
https://www.city.sapporo.jp/shimin/chiiki-bohan/kihonkeikaku/daiyo/kihonkeikaku.html					
札幌市犯罪被害者等支援条例	札幌市では、札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例に基づき、経済的な支援を含めた犯罪被害者等支援施策を実施してきた。一方で、犯罪被害者等への支援は、二次被害や再被害の防止も重要であり、市民や事業者を含めた社会全体で取り組む必要があることから、それぞれの責務を明確化し、持続的・継続的な支援を行うため、犯罪被害者等支援に特化した条例を制定した。	市民アンケート	R6年6月13日 ～R6年6月19日	回答数:500件	市民文化局 地域振興部 区政課 011-211-2252
		審議会	R6年6月～R7年3月	計4回実施(常任委員14名、臨時委員4名)	
		パブリックコメント	R6年11月15日 ～R6年12月16日	意見提出者数:5名1団体、意見数:38件	
https://www.city.sapporo.jp/shimin/hanzai/shienjoure.html					
清田区民センター移転・整備基本計画	清田区民センターの移転・整備に係る基本事項等を取りまとめたもの	ワークショップ	R6年4月～10月	全4回実施。指名及び公募により選出した清田区民や関係団体等30人が参加した。	市民文化局 地域振興部 区政課 011-211-2176
		アンケート	R6年6月	無作為抽出により選出した18～89歳の清田区民2,500人に対しアンケートを送付し、998人から回答があった(回答率約40%)	
		アンケート(学生向け)	R6年6月	清田区内の大学・高校に通う学生・生徒約4,000人に対しアンケートを送付し、852人から回答があった(回答率約21%)	
		パブリックコメント	R6年12月～R7年1月	10人から25件のご意見が寄せられた。	
https://www.city.sapporo.jp/shimin/shisetsu/kivota/workshop/index.html					
(仮称)南区複合庁舎整備基本計画	(仮称)南区複合庁舎の整備に係る基本事項等を取りまとめたもの	ワークショップ	R6年8月～R7年2月	全4回実施。指名及び公募により選出した南区民や関係団体等29人が参加した。	市民文化局 地域振興部 区政課 011-211-2176
		アンケート	R6年8月	無作為抽出により選出した18～89歳の南区民2,500人に対しアンケートを送付し、941人から回答があった(回答率約38%)	
https://www.city.sapporo.jp/shimin/shisetsu/minami/workshop/index.html					
市民自治推進会議	札幌市自治基本条例第31条及び第32条に基づき、市民自治によるまちづくりの施策等の評価及び自治基本条例の規定についての検討を行う。第5次市民自治推進会議では、よりの確かな市民意向の把握や市民意見を市政に反映するための手法などについて検討を行い、その一環として成人の日行事のあり方について検討を行った。	審議会	R6年4月～R7年3月	7名が委員として参加し、6回の会議を開催	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		アンケート(第1回)	R6年5月～R6年6月	①19歳の市民3,000人(郵送)、②市内大学生(大学に配布)、③札幌市公式LINE等を見た方(オンライン調査)を対象にアンケートを実施し、合計6,031名から回答があった。	
		ヒアリング	R6年5月～R6年7月	10区14団体に対し、ヒアリングを実施	
		市民会議	R6年10月27日、 11月4日	無作為抽出により案内を送付し、各回41名、合計82名が参加	
https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/gugenka/suisinkaigi/top.html					
市民自治を考える市民ワークショップ	札幌市の市民自治のあり方や市民自治推進のための方策等について、市民の意見を広く聴くため、市民によるワークショップを実施する。	ワークショップ	R7年3月1日	無作為抽出により案内を送付し、43名の市民が参加。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/gugenka/hyoukakaigi/top.html			
まちづくりセンター地域自主運営化推進事業	地域が創意工夫を活かし、主体的にまちづくりを行うことができるよう、地域によるまちづくりセンターの自主運営化を支援する。	業務委託	R6年4月～R7年3月	10団体に対し、業務委託を実施した。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/gugenka/jisyu/top.html			
次世代の活動の担い手育成事業	世代に応じた効果的な啓発・体験により、まちづくりへの意識醸成を図り、将来の地域活動の担い手育成につなげる。	体験型事業	R6年7月～R7年2月	小学校15校を対象に実施。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
		体験型事業	R6年8月～R7年3月	中学校3校を対象に実施。	
		体験型事業	R6年7月～R6年10月	市立高校8校を対象に実施。	

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
地域マネジメント推進事業	地域(まちづくりセンター区域を基本とした連合町内会やまちづくり協議会等)で共有された将来の展望とその実現に向けた活動指針「地域まちづくりビジョン」を策定するための勉強会やワークショップ開催支援を行う。	勉強会	R6年9月	1地域団体に対して実施した。	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2253
市民まちづくり活動促進テーブル	市民まちづくり活動の促進に関し必要な事項について調査審議等を行う。	審議会(本部委員会)	R6年5月～R6年12月	年4回程度	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2964
		審議会(審査部会)	R6年4月～R7年3月	年9回程度	
	https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/jvourei/table/t01_top.html				
地域まちづくり人材育成事業	地域課題の解決に必要なスキルをもった人材の育成を行うとともに、市民がまちづくり活動を体験できる機会を提供する。	セミナー	R6年10月～R7年3月	8回	市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課 011-211-2964
		活動体験	R7年1月	2回	
	https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/jinzai-ikusei/r5/2023jinzai.html				
札幌市の成人女性を対象とした生活状況に関する調査	市内女性の生活状況や希望するサポート方法を把握・分析し、女性の支援に関する政策立案の参考とするため、調査を行った。	アンケート	R6年11月1日～R6年11月19日	18歳～74歳の女性を対象とした郵送調査(4,000人)	市民文化局 男女共同参画室 男女共同参画課 011-211-2962
	https://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/chosa/ivokyo.html				
サッポロ・シティ・ジャズのボランティアスタッフ「JAZZ SAVERS」	サッポロ・シティ・ジャズの「パークジャズライブ」などで、受付補助、案内、仕込み・片づけ、チラシ折込、清掃、写真撮影などの業務を担うボランティアスタッフを市民から募集し、事業運営に参加する。	市民スタッフ	R6年5月～R7年3月	夏の「パークジャズライブ」、冬の「シアタージャズライブ」などで受付補助・案内・写真撮影等の運営サポートを行った。	市民文化局 文化部 文化振興課 011-211-2261
	https://sapporocityjazz.jp/				
第2期札幌市文化財保存活用地域計画	文化財の保存活用に関する計画である「第2期札幌市文化財保存活用地域計画」の策定にあたり、パブリックコメントを実施する。	パブリックコメント	R6年12月～R7年1月	6人から9件の意見の提出あり	市民文化局 文化部 文化財課 011-211-2312
札幌大通地下ギャラリー500m美術館のボランティアスタッフ「500メーターズ」	札幌大通地下ギャラリー500m美術館で、企画・制作・管理・運営など業務をサポートするボランティアのアートマネジメントチームのメンバーを市民から募集し、事業運営に参加する。	市民スタッフ	R6年6月～R7年3月	管理運営業務のサポートの他、「500メーターズプロジェクト」として展示会の企画を行った。	市民文化局 文化部 文化振興課 011-211-2261
	https://500m.jp/				
第2期札幌市スポーツ推進計画	国が新たに「第3期スポーツ基本計画」を策定するとともに、現行の「札幌市スポーツ推進計画(2013～2022)」の計画年度が終了を迎えたことから、2024年度以降の札幌市のスポーツ施策の推進について、新たな計画を策定した。	パブリックコメント	R6年7月～9月	意見提出者数:9人 意見件数:20件	スポーツ局 スポーツ部 企画事業課 011-211-3044
		キッズコメント	R6年7月～9月	意見提出者数:25人 意見件数:25件	
		審議会	R6年12月12日	計画等について、委員から意見を聴取した。	
	https://www.city.sapporo.jp/sports/vision/index/dai2kikeikaku.html				
札幌市障がい者スポーツセンター基本構想	現在整備を検討している障がい者スポーツセンターについて、その規模や機能、整備候補地等の考え方を明らかにするための基本構想を定めるもの。	パブリックコメント	R6年冬頃		スポーツ局 スポーツ部 企画事業課 011-211-3044
(仮称)新美香保体育館整備基本計画	美香保体育館の後継施設に必要な規模や機能、事業手法等に関する基本的な事項を定めることを目的とした基本計画を策定した。	パブリックコメント	R6年12月23日～R7年1月31日	意見提出者数11人、意見数22件	スポーツ局 施設整備担当部 施設整備担当課 011-211-3077
	https://www.city.sapporo.jp/sports/sisetsu/skate-curling/keikaku.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
福祉除雪事業	高齢者や障がい者といった、積雪により外出に支障のある世帯に対して、ボランティアである地域協力が除雪を行いつつ、必要に応じて見守り活動も行うことにより、地域での生活を支援し、地域福祉活動を推進する。	審議会	R6年6月、9月、 R7年2月、3月	8名が委員として参加し、計4回会議を開催	保健福祉局 総務部 地域福祉・生活支援課 011-211-2932
	https://www.city.sapporo.jp/fukushijosetsu/index.html				
札幌市健康づくり推進協議会	健康増進法第8条2項に規定する健康増進計画その他本市の健康づくりに関する施策についての審議に関すること。	協議会	R6.6月、9月	2回開催①16名、②16名	保健福祉局 ウェルネス推進部 ウェルネス推進課 011-211-3513
	https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/kenkodokuri/kenkosapporo21/kvogikai/main.html				
札幌市食育推進計画	第4次札幌市食育推進計画の推進のため、市民公募委員を含む審議会(札幌市食育推進会議)の意見を反映させ、進捗管理を行った。	審議会	R6年8月	市民委員を含む14人が出席し、会議を開催	保健福祉局 ウェルネス推進部 ウェルネス推進課 011-211-3516
	https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/syokuiku/dai4zikeikaku.html				
札幌市医療体制審議会	今後、少子高齢化等の社会構造の急速な変化により医療需要のさらなる多様化・高度化が予想されることから、本市の医療体制について、公募に応じた市民を含め、広く有識者、関係者等による審議を行った。	審議会及び部会	R6年10月～R7年3月	審議会を2回(10,1月)、救急部会を2回(12,2月)、災害部会を2回(1,3月)、在宅部会を1回(3月)それぞれ実施。	保健福祉局 ウェルネス推進部 医療政策課 011-211-3517
終活ワークショップ	葬送について考えたり行動したりする市民をサポートできるよう、行政が担うべき役割に関する情報等を収集するため、市民ワークショップを各区で1回ずつ開催した。	ワークショップ	R6年9月～R7年11月	各区1回ずつ計10回開催し、延べ122名の市民が参加。	保健福祉局 ウェルネス推進部 施設管理課 011-211-3518
札幌市火葬場・墓地に関する運営計画	令和4年3月に策定した「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」に基づく各種取組について、協議会と連携のもと進める。また、次期計画の策定について検討を進めた。	協議会	R6年4月～R7年3月	札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会の総会を計3回開催。	保健福祉局 ウェルネス推進部 施設管理課 011-211-3518
	https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/hochi_kasou/arikatakvogikai/arikatauisshinkvogikai.html				
葬送と終活を考えるシンポジウム・パネル展	札幌市火葬場・墓地に関する運営計画の推進にあたり、火葬場・墓地の取組に対する市民理解の促進、終活について考える機会の提供を目的としてシンポジウム及びパネル展を開催した。	シンポジウム パネル展	R6年7月6日 R6年7月12日～13日	118名の市民が参加。 2日間で延べ277名の市民が参加。	保健福祉局 ウェルネス推進部 施設管理課 011-211-3518
市営霊園利用者向け意見交換会	持続可能な市営霊園の運営に向け、市営霊園の現状と課題を共有するとともに、新たに導入を検討している管理料制度の考え方を説明し、意見交換を行った。	意見交換会	R6年6月20日、23日	2日間で延べ20名の霊園使用者が参加。	保健福祉局 ウェルネス推進部 施設管理課 011-211-3518
火葬場・市営霊園新料金制度に関するパブリックコメント	持続可能な火葬場・市営霊園の運営に向け導入を検討している新料金制度案に関するパブリックコメントを実施した。	パブリックコメント	R6年11月～12月	火葬場について14名の市民から26件の意見が、市営霊園について4名の市民から10件の意見が寄せられた。	保健福祉局 ウェルネス推進部 施設管理課 011-211-3518

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
札幌市新型インフルエンザ等行動計画	国において、内閣感染症危機管理統括庁を設置し、新型コロナウイルス感染症の対応時の課題等を踏まえて、政府行動計画の改定が予定されているところ。(令和6年6月改定案を閣議決定予定)本市においても、国の計画を踏まえて、札幌市新型インフルエンザ等行動計画の改定を予定しており、平時の備えや有事のシナリオの再整理、感染拡大防止と社会経済活動のバランスなど、市民生活に大きな影響を及ぼす計画のため、パブリックコメント等を用いて、市民参加を実施した上で、計画を策定する予定。	パブリックコメント	R7年3月	行動計画の改定を令和6年度から令和7年度に変更したため、市民参加(パブリックコメント)の時期も令和7年度になった。	保健福祉局 保健所 感染症総合対策課 011-622-5199
令和7年度札幌市食品衛生監視指導計画	保健所が行う食品関係施設に対する監視指導や市民への啓発事業などの実施に関する計画への意見を募る。	パブリックコメント	R7年1月下旬 ～3月上旬頃	1枚から2件の意見が提出	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5170
さっぽろ食の安全・安心モニター事業 (安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業)	市内の食品取扱施設について、食品の表示、施設の衛生状況等を調査してもらう。	モニター制度	R6年4月～R7年3月	活動期間：R6年5月22日～R7年3月31日 29名が参加し、延べ237施設を調査	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5170
https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/monitor/index.html					
食のまち・さっぽろフェスト (安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業)	食の安全・安心について市民へ広く普及啓発するためのイベントを開催する。	イベント参加	R7年1月下旬	R7年1月25日に、札幌駅地下歩行空間(北3条広場)にて、延べ4,573人来場。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5170
https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/event/index.html					
さっぽろ食の安全・安心市民交流事業 (安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業)	事業者・生産者と市民の相互理解を図り、また、市民が食の安全について正しい知識と理解を深め、さらに食に対する信頼感を持ってもらうため、生産地や生産工場を見学してもらう。	交流事業		未実施	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5170
https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/event/index.html					
さっぽろ子ども食品Gメン体験事業 (安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業)	小学3～6年生の親子を対象に、行政や事業者の食の安全確保への取組にかかる正しい知識の習得等を目的として、食品衛生監視員の業務を体験・学習してもらう。	体験事業	R6年7月～8月	令和6年8月1日、札幌市中央卸売市場において、親子14組28名参加し、実施。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5170
https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/event/index.html					
安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議 (安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業)	条例に基づき設置している附属機関。食の安全・安心に関する本市の施策について審議し、意見を述べてもらう。	会議	R6年6月頃	令和6年7月9日、市民委員5人出席	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5170
			R6年7月頃	令和6年8月8日、市民委員5人出席	
			R7年1月～2月頃	令和7年1月29日、市民委員4人出席	
https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/jorei/suishinkai/index.html					
(仮称)第3次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画	食の安全・安心に関して、行政からの監視指導や市民・事業者間のリスクコミュニケーションの推進を図る5か年計画について、計画案への意見を募る。	パブリックコメント	R6年12月～R7年1月頃	令和7年1月8日から令和7年2月6日まで実施。6人の市民より、12件の意見提出あり。	保健福祉局 保健所 食の安全推進課 011-622-5170
札幌市災害時動物救護ボランティア	札幌市域で札幌市域において大規模な災害が発生した際に、動物救護活動にボランティアで参加する。	講習会	例年1回	令和6年度未実施	保健福祉局 保健所 動物愛護管理センター 011-736-6134
		災害発生時の活動参加	随時	総合防災訓練でのペット同行避難訓練への参加(1名)	
https://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/suisinin.html					

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
動物愛護管理推進協議会	「札幌市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、市民公募委員を含めて設置された、市長の附属機関。動物の愛護及び管理に関する重要事項を調査審議する。	協議会	例年2回程度	1回実施	保健福祉局 保健所 動物愛護管理センター 011-736-6134
	https://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/kvougikai.html				
札幌市動物愛護推進員	「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき募集している、札幌市の動物愛護及び適正飼育推進のため、積極的・自主的な活動をしていただくボランティア制度。	研修・連絡会議	例年2回程度	1回実施	保健福祉局 保健所 動物愛護管理センター 011-736-6134
	https://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/suisinin.html				
札幌市動物愛護ボランティア	「人と動物が幸せに暮らせるまち・さっぽろ」を目指し、札幌市の動物愛護管理事業へ協力するボランティア制度。啓発イベント等の補助を行う啓発ボランティア、幼児への生命倫理教育行事「どうぶつあいご教室」等の補助を行う教育ボランティア、保健所に収容されている動物の体調管理等の補助を行うケアボランティアの3区分に分かれている。	イベント補助 収容動物管理の補助 施設運営の補助	随時 随時 随時	イベント2回実施 どうぶつあいご教室 23回実施 2回実施 2回実施	保健福祉局 保健所 動物愛護管理センター 011-736-6134
	https://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/suisinin.html				
健康寿命延伸に向けた取組の実施案に関するオープンハウス型説明会	健康寿命延伸に向けた取組の実施案に関するオープンハウス型説明会を実施した。	パネル展	R6年11月29日 ～R6年11月30日	来場者数(延べ人数):293名	保健福祉局 高齢保健福祉部 高齢福祉課 011-211-2976
健康寿命延伸に向けた取組の実施案に関するパブリックコメント	健康寿命延伸に向けた取組の実施案に関するパブリックコメントを実施した。	パブリックコメント	R6年12月16日 ～R7年1月20日	意見総数:457件(WEBフォーム267件、電子メール34件、郵送・FAX・持参156件)	保健福祉局 高齢保健福祉部 高齢福祉課 011-211-2976
	https://www.city.sapporo.jp/koreifukushi/kenkoh/publiccomment.html				
札幌市介護保険事業計画推進委員会	札幌市介護保険条例に基づき、「高齢者支援計画」の進行管理及び評価についての調査審議等を行う。	審議会 ※23名中、3名が市民公募	R6年9月～R7年2月	介護保険事業計画推進委員会を2回開催	保健福祉局 高齢保健福祉部 介護保険課 011-211-2547
	https://www.city.sapporo.jp/kaigo/k500plan/k-570inkai.html				
札幌市歯科口腔保健推進会議	「札幌市歯科口腔保健推進条例」の目的を達成するため、歯科口腔保健対策について協議・検討を行う場として開催した。	審議会	R7年2月18日	実施回数1回・出席人数(委員)13名	保健福祉局 ウェルネス推進部 ウェルネス推進課 011-211-3516
	https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/shika/suishinkaiji/suishinkaiji.html				
札幌市子ども・子育て会議	札幌市における子ども施策の推進に必要な事項等について協議。	会議	R6年6月～R7年3月	札幌市子ども・子育て会議を年5回実施。	子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 011-211-2982
	https://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/kosodatekaigi.html				
第5次さっぽろ子ども未来プラン	子どもの権利の推進と子どもの育ちや子育てを総合的に支援する計画「第4次さっぽろ子ども未来プラン」の計画期間が令和6年度で終了するため、次期計画(令和7～11年度)。	会議 パブリックコメント アンケート	R6年6月～R7年3月 R7年1月30日 ～R6年2月28日 R6年7月29日 ～R6年8月31日	札幌市子ども・子育て会議において計4回の審議・報告を行った。 意見提出数 大人:55名、意見数133件 子ども:94名、意見数183件 18歳～39歳の市民を対象に若者の意識等に関するWEBアンケート調査を実施。回答855件。	子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 011-211-2982
	https://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/shinplan.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
子ども・子育てに関する意識調査	子ども・子育て施策に関する計画である「第4次さっぽろ子ども未来プラン」の進行管理のため、未就学児の保護者及び子どもを対象とした市民アンケート調査を実施。	アンケート	R6年11月11日 ～R6年11月25日	無作為抽出により①0～5歳の子どもがいる世帯3,000世帯、②10～12歳の子ども700人、③13～18歳の子ども1,300人に対しアンケートを実施。回答:①1,447件、②298件、③398件	子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 011-211-2982
https://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/kenriinkai.html					
子どもの権利委員会	子どもの最善の利益を実現するための権利条例に基づき、子どもの権利に関する施策の検証及び子どもの権利に関する推進計画について意見交換を行う。	委員会	R6年5月13日、 9月12日、11月19日	14人が委員として参加し、計3回委員会を開催した。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
https://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/plan.html					
第3次子どもの権利に関する推進計画	「第3次札幌市子どもの権利に関する推進計画」のR6年度終了に伴い、次期計画策定の検討の実施と、子ども・若者からの意見を反映するためのワークショップ等を行う。	ワークショップ	R6年8月～10月	公募で選ばれた中高生6人が委員として参加し、計5回の委員会を開催して検討を行った。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
https://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/plan.html					
シンガポール少年少女交流事業	市内の中学2年生(受入時は中学3年生)を対象とし、ホームステイを基本に、相互に派遣と受入を行い、中学校体験入学や市内視察等のプログラムを実施する。	研修でのワークショップ	R6年4月～5月	本市中学生12名が参加し、計3回研修を実施した。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
		アンケート	R6年6月	12名よりアンケートの回答が提出された。	
https://www.city.sapporo.jp/kodomo/ikusei/101_2.html					
子ども議会	小学4年生から中学生までの子どもが市政について学び、よりよくするための方法等を考え提案する。	委員会活動	R6年9月～R6年12月	子ども議員27名が、12名の高校生・大学生のサポートの下、自ら設定した市政に関するテーマについて議論を実施した。	子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 011-211-2942
		市長報告会	R6年12月	子ども議員がまとめた意見について、テーマごとにスライド資料を作成し、市長に直接報告した。また、市長報告会の様子は広報部Youtube公式チャンネルSapporoPRDで一般公開した。	
https://www.city.sapporo.jp/kodomo-mirai/kids/ikusei_gikai01.html					
ひとり親家庭学習支援ボランティア事業	ひとり親家庭の元重小・中・高生・中学生および兄弟が登録・出席している小学校1・2年生および中学3年生時に本事業に参加していた高校1年生)を対象として、各区に会場を設け、大学生等のボランティアによる学習支援を行う。学習習慣を身に付けさせ、基礎的な学力の向上を図るとともに、進学や進路等の相談を通じ、ひとり親家庭の不安感を解消する。	市民スタッフ	R6年4月初旬～ R7年3月31日	児童参加人数:延べ3,635人 ボランティア参加人数:延べ2,678人 生活・進路相談件数:259件	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援課 011-211-3848
https://kosodate.city.sapporo.jp/mokuteki/manabu/hitoriova/1346.html					
札幌市民子育て支援宣言	これから親になる方や子育て中の親子に対し、市民一人ひとりが支援する気持ちを言葉と行動で表すことを宣言・実行する取組。	個人または 団体、企業での宣言	通年	R6年度宣言者数及び累計 個人 4,289人 累計 76,305人 3団体 728人 累計30,067人 48企業4,601人 累計58,703人 個人・団体・企業累計 165,075人	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援推進担当課 011-211-2997
https://www.city.sapporo.jp/kodomo/sengen/gaivo/index.html					
札幌市子育て支援推進ネットワーク協議会	子育てに関する関係機関・団体が情報の共有化と協力体制を築き、子育て支援を推進する。	協議会会議	第1回:R6年5月14日 第2回:R6年8月2日 第3回:R6年10月1日 第4回:R6年12月13日 第5回:R7年2月6日	第1回:5団体5人出席 第2回:4団体4人出席 第3回:2団体2人出席 第4回:5団体5人出席 第5回:3団体3人出席	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援推進担当課 011-211-2997
札幌市子育て支援講演会	すべての市民が子どもや子育て家庭とつながり、社会全体で子育てを支える環境づくりについて一緒に考える機会をつくることを目的とした講演会を開催する。	実行委員会会議	第1回:R6年5月14日 第2回:R6年8月2日 第3回:R6年10月1日 第4回:R6年12月13日	第1回:5団体5人出席 第2回:4団体4人出席 第3回:2団体2人出席 第4回:5団体5人出席	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援推進担当課 011-211-2997
https://kosodate.city.sapporo.jp/event/chuou/shien_center/9035.html					
		講演会(オンライン)	R6年10月15日～R6年11月15日	528人	

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
里親制度普及啓発事業	様々な理由により家庭で生活できない子どもたちを温かな雰囲気をもって受け入れている里親制度を、社会的養護の現状や里親養育体験発表等を通じて多くの市民にPRし、里親登録希望者の裾野を広げると同時に、地域での関心と理解を深める。	フォーラム	R6年10月	札幌市民交流プラザで開催し、124名が参加	子ども未来局 児童相談所 家庭支援課 011-622-8619
ボランティアエキストラ登録制度の運用	市民の映像制作への参加を促し、まちの魅力を再発見するため、エキストラ登録制度を運用する。	ロケーション撮影への参加	R6年4月～R7年3月	新たに404人がボランティアエキストラに登録 札幌市内で行われたロケーション撮影に、 ボランティアエキストラとして延べ約2500人が 参加した。	経済観光局 産業振興部 産業振興課 011-211-2392
	https://www.screensapporo.jp/sfc/volunteer				
Sapporo Game Camp	市内ゲーム開発企業への就職や業界理解促進のため、小中高生を対象としたプログラミング講座、CG制作体験や、18才以上を対象としたゲームジャム等を実施。	体験事業	R6年10月11～13日	サッポロファクトリーで開催。小中高生を対象 としたプログラミング講座には123人、 CG制作体験には72人、 18才以上を対象としたゲームジャムには106人 トークセッションには延べ1,104人が参加した。	経済観光局 産業振興部 産業振興課 011-211-2392
	https://sapporo-game-camp.com/				
ジモトのシゴトワーク！WORK！	ものづくり企業をはじめとした地元企業の魅力や面白さを伝えることで、企業の認知度向上、ひいては将来的な地元企業への就職につなげていくことを目的として、さっぽろ連携中枢都市圏内企業の製品・技術を、体験型の展示イベントを通して高校生に見せる「ジモトのシゴトワーク！WORK！」を開催する。	体験事業	R6年9月17日～18日	9月17～18日、つどーむ(東区)で開催。 40企業・団体が出展し、5,687名の高校生が 来場した。	経済観光局 産業振興部 産業振興課 011-211-2392
	https://www.city.sapporo.jp/keizai/monodukuri/wakuwork.html				
ものづくりKids拠点	市内ものづくり企業への将来的な就職を目的に、小中学生を主対象としたものづくりを「見て」、「触れて」、「学べる」拠点を構築する。	体験事業	R6年8月～R7年3月	札幌産業振興センターのHubで計20回実施 延べ290名の子どもがものづくり体験を行った。	経済観光局 産業振興部 産業振興課 011-211-2392
札幌市観光ボランティア	札幌を訪れる観光客の方々を温かくおもてなしするため、観光案内所にて観光案内などを行う。	案内活動	通年	札幌市観光ボランティア149名(R6.4.1時点)が、「北海道さっぽろ観光案内所、大通公園観光案内所、雪まつり臨時観光案内所」にて観光案内を実施。	経済観光局 観光・MICE推進部 観光・MICE推進課 011-211-2376
	https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/volunteer/volunteer_info01.html				
次期定山溪観光魅力アップ構想	定山溪が観光地・温泉地として目指すべき将来像及び方向性を描き、官民一体となって魅力向上を図るための指針を策定(現構想の更新)	パブリックコメント	R7年1月頃～R7年4月頃	進捗遅れにより未実施(令和7年度に実施予定)	経済観光局 観光・MICE推進部 観光・MICE推進課 011-211-2376
	https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/ozankei/				
第2次さっぽろ都市農業ビジョン推進懇話会	第2次さっぽろ都市農業ビジョンの進行管理のため、毎年度末に施策実施による成果の達成状況を報告し、次年度の施策の推進や改善に反映させるため意見交換を行う。	懇話会	R7年2月14日	8名が懇話会の委員として参加	経済観光局 農政部 農政課 011-211-2406
	https://www.city.sapporo.jp/keizai/nogvo/vision/index.html				
「(仮称)さっぽろ都市農業振興基本計画」	都市農業振興基本法に基づき、現在の「第2次さっぽろ都市農業ビジョン」の後継となる「(仮称)さっぽろ都市農業振興基本計画」を令和8年度に策定予定である。	アンケート	R6年11月 R7年2月	農業者(2,060名のうち1,125名が回答) 市民(3,000名のうち1,500名が回答)	経済観光局 農政部 農政課 011-211-2406
	https://www.city.sapporo.jp/nogvo/keikaku/keikaku.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
札幌市リサイクルプラザ 管理運営	ごみ減量・リサイクルに係る普及啓発施設である札幌市リサイクルプラザについて、指定管理者であるNPO法人により管理運営を行い、他団体と連携してイベントを実施したほか、市民ボランティアとともに教室・講座の実施や広報物の作成を行った。また、今後の事業計画の参考にするため、各種事業の参加者・来館者にアンケートを実施した。	事業委託(指定管理施設)	通年	令和5年4月～令和10年3月の期間を委託	環境局 環境事業部 循環型社会推進課 011-211-2928
		事業共催	通年	計12回のイベントを実施	
		市民スタッフ	通年	計68名のボランティアが168日活動	
		アンケートの実施	通年	計400人にアンケートを実施(無回答も含む)	
	https://www.city.sapporo.jp/seiso/plaza/plaza.html				
札幌市リユースプラザ等 運営管理	ごみ減量・リサイクルに係る普及啓発施設である札幌市リユースプラザ、リサイクルプラザ発寒工房及び地区リサイクルセンターについて、NPO法人への委託により運営管理を行い、市民団体等との協働イベントを実施したほか、市民ボランティアを講師とした教室・講座を行った。また、今後の事業計画の参考にするため、各種事業の参加者・来館者にアンケートを実施した。	事業委託	通年	令和4年10月～令和7年9月の期間を委託	環境局 環境事業部 循環型社会推進課 011-211-2928
		事業共催	年6回程度	計6回のイベントを実施	
		市民スタッフ	通年	8名のボランティアが講師として活動	
		アンケートの実施	通年	計200人にアンケートを実施	
	https://www.city.sapporo.jp/seiso/plaza/plaza.html				
生ごみ堆肥化アンケート	堆肥化を実践している市民の方の取り組み状況等を把握し、今後の札幌市の生ごみ減量・堆肥化施策の参考にするために、生ごみ堆肥化機材助成者に対するアンケート調査を行った。	アンケート	R6年11月	令和5年度(前年度)の電動生ごみ処理機購入助成利用者326人、生ごみ堆肥化機材購入助成利用者335人、計661人にアンケート票を送付し、計412人から回答があった。	環境局 環境事業部 循環型社会推進課 011-211-2928
	https://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/namagomi/namagomienquete1.html				
生ごみ減量・資源化に 関する関心度・ 実践度等調査	市民の生ごみ減量に対する「関心度」や「実践度」等について把握し、今後のごみ減量・資源化施策の方向性や内容を検討する際の資料とするためにアンケート調査を行った。	アンケート	R7年1月	等間隔無作為抽出法により抽出した満18歳以上の市民2,500人(郵送法)及び札幌市公式LINEの友達登録者約20万人(Web法)を対象に実施し、計4,884人から回答があった。	環境局 環境事業部 循環型社会推進課 011-211-2928
	https://www.city.sapporo.jp/seiso/houkoku/anq/namagomi.html				
札幌市環境審議会	「札幌市環境基本条例」に基づき、環境の保全に関する基本的事項の調査及び審議を行った。	委員として参加	R6年11月	市民委員2名参加。	環境局 環境都市推進部 環境政策課 011-211-2877
	https://www.city.sapporo.jp/kankyo/shingikai/kankyo_shingikai/index.html				
SDGs映画上映会	映画を通じて持続可能な社会について考えるきっかけとしていただくことを目的に、春休みSDGs親子映画上映会を開催した。	映画上映会	R6年8月	生物多様性をテーマとした映画を上映。160組320名の親子が参加。	環境局 環境都市推進部 環境政策課 011-211-2877
			R7年1月	海洋資源をテーマとした映画を上映。195組390名の親子が参加。	
	https://www.city.sapporo.jp/kankyo/sdgs/movie/				
札幌市環境教育・環境 学習基本方針推進委員 会	「札幌市環境教育・環境学習基本方針」に基づき、施策の進捗状況や効果などを評価、検証するため実施した。	委員として参加	R6年6月	2回開催、各回市民委員2名参加。	環境局 環境都市推進部 環境政策課 011-211-2877
			R6年12月		
	https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kvoiku/committee/index.html				
さっぽろ気候変動タウン ミーティング	札幌市は気候変動をはじめとする社会課題について話し合ったり、専門家からの学びを得たりしながら参加者同士がつながることができるようなワークショップを開催した。	ワークショップ	R6年11月～R7年3月	8回開催し、47名(延べ154名)が参加	環境局 環境都市推進部 環境政策課 011-211-2877
		ワークショップスタッフ	R6年9月～R7年3月	ワークショップ運営スタッフとして9人参加	
	https://www.city.sapporo.jp/kankyo/sdgs/workshop/climate_change_town_meeting/				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
環境教育・子どもワークショップ	子どもたちが地球環境を意識して生活する心を育み、自発的な行動につなげるきっかけとなることを目指し、体験やグループワークを通して学ぶワークショップを、オンライン上で実施した。	ワークショップ	R7年2月～3月	2回開催し、児童会館に通う小学生を対象に計145名が参加	環境局 環境都市推進部 環境政策課 011-211-2877
		ワークショップスタッフ	R7年1月～3月	ワークショップ運営スタッフとして14人参加	
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankvo/kvoiku/sdgsworkshop/2024_workshop.html					
さっぽろ生き物さがし 2024	札幌の自然環境の状況を把握することを目的に、森林や草地、水辺などの環境の指標となる生き物を市民みんなで調べる一斉調査。参加者からの調査報告をもとに、さっぽろ生き物マップを作成した。	生き物調査の実施	R6年5月18日～9月30日	1750名が参加し17355件のデータを含むマップを作成した。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/06chosa.html					
特別企画展	生物多様性と気候変動をテーマに、市民が生物多様性保全に興味関心を持つ機会の創出や札幌市において気候変動がもたらす影響等に関する理解の促進を目的とし、夏休み期間に円山動物園内における企画展を開催した。また、講師を招いた気候変動の影響に関するフォーラムを会場とオンラインでのハイブリッド形式で実施した。	パネル展示等	R6年7月26日～8月4日	R6年7月26日～8月4日に外来種の生体展示などを含む展示や、学習プログラムを実施した。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
		フォーラム	R6年10月13日	計89名が参加したフォーラムを実施した。	
生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク連携事業	札幌市内にある動物園や博物館など、生物に関連する市内19施設と連携して、生物多様性に関するイベントを開催した。	オンラインでのクイズラリー等	R6年7月以降	事業内容を変更したため市民参加はなかった。	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
ヒグマパネル展	市民のヒグマに関する正しい知識の習得を目的とし、ヒグマの生態やヒグマに出遭わないためにできること、札幌市のヒグマ対策などのパネルやヒグマの毛皮の展示、クイズラリー等を組み合わせたイベントとして、ヒグマパネル展を開催した。	パネル展示等	R6年6月29～30日	R6年6月29～30日にヒグマに関するパネルや毛皮の展示	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
地域住民と協同した草刈り活動	ヒグマによる人身事故を未然に防止するために、地域住民と協力して、ヒグマの侵入経路となりうる河畔林等の草刈り活動を行った。	草刈り	R6年5月	篠舞三区町内会10名程度参加	環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 011-211-2879
			R6年6月	市立札幌みなみの杜高等支援学校が参加	
			R6年6月、8月	札幌藻岩高等学校卒業生グループ20～30名程度参加	
			R6年7月	義務教育学校福移学園30名程度参加	
			R6年7月	町内会の市民30名程度参加	
			R6年7月	東海大学の学生及びNPO法人TSUNAGUが27名参加	
	R6年8月	石山地区の住民40名程度参加			
	R6年9月	真駒内南町7丁目町内会数名参加			
円山動物園ボランティア	展示動物の解説等を通じて、入園者へのサービス向上と動物園の事業の一層の充実を図り、社会教育及び環境教育に市民自らが貢献することを目的とする。	市民スタッフ(動物のガイド)	随時	登録人数51人	環境局 円山動物園 保全・教育推進課 011-621-1427
		市民スタッフ(園内でのイベント実施)	随時		
https://www.city.sapporo.jp/zoo/					
円山動物園の森ボランティア	円山動物園の森のツアーガイド及び運営管理を行った。	市民スタッフ(動物園の森のガイド)	R6年4月～10月	82回実施	環境局 円山動物園 保全・教育推進課 011-621-1427
		市民スタッフ(動物園の森でのイベント実施)			
https://www.city.sapporo.jp/zoo/					
市民動物園会議	札幌市動物園条例に基づき動物園における生物多様性の保全に関する施策の推進に関し必要な事項について調査審議等を行った。 生物多様性の保全を目的とした市内の動物園に係る施策及び円山動物園の運営に関し調査審議等を行った。	委員として参加	2回開催	参加人数	環境局 円山動物園保全・教育推進課 011-621-1427
		傍聴人として参加	1回目 R6年7月11日	9名/10名	
			2回目 R7年1月30日	9名/10名	
https://www.city.sapporo.jp/zoo/					

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
発寒清掃工場更新事業	老朽化が進んでいる発寒清掃工場を更新し、令和16年度の稼働を目指すもの。基本計画(案)の作成及び環境影響評価方法書の公表を行った。	意見公募・説明会	R6年8月～9月	1名より意見提出あり。説明会は1回開催し、5名出席	環境局 環境事業部 施設管理課 011-211-2922
		委員会(懇話会)	R6年9月～12月	学識経験者4名で3回実施	
		パブリックコメント	R7年3月～4月	1名より意見提出あり	
https://www.city.sapporo.jp/seiso/hassamu_koushin/hassamu_koushin_menu.html					
冬みち地域連携事業	除排雪を取り巻く状況を行政と地域が協力して解決するため、雪体験授業や出前講座等の実施により、除排雪事業や冬の暮らしのルール・マナーについての理解促進を図るほか、除雪ボランティアの取組支援により地域力を生かした雪対策を推進します。	小学生を対象とした雪体験授業	R6年11月～R7年3月	雪体験授業実施:小学校188校	建設局 土木部 雪対策室事業課 011-211-2662
		地域懇談会や出前講座等	随時	懇談会、出前講座、合同パトロール:17回	
		公園その他公共用地の地域の雪置き場としての活用	R6年12月～R7年3月	覚書締結公園:1,609公園	
		冬季歩行環境の改善(砂まき活動)	R6年12月～R7年3月	砂まき協力企業:1,529店舗・商店街	
大通公園のあり方の検討	大通公園について多様化する市民ニーズなどに対応した新たな役割を検討するにあたり、有識者・市民の意見を広く聴取することで、公園の魅力向上に向けた計画を取りまとめた。	オープンハウス	R6年8月2日、3日	パネル・資料の展示やシール投票等を実施し、521名の参加があった。	建設局みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		https://www.city.sapporo.jp/rvokuka/midori/arikatakentoukai.html			
手稲稲積公園の再整備に向けた市民アンケート	老朽化が進む手稲稲積公園について、施設改修や再整備に向けた市民ニーズ等の分析を行うため、市民を対象としたアンケートを行った。	アンケート	R6年5月～6月	無作為に抽出した市民1,500人に郵送し464部の回答が得られた。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		https://www.city.sapporo.jp/rvokuka/midori/arikatakentoukai.html			
川下公園リラックスプラザ施設改修等に向けたアンケート	川下公園の利用者を対象に、リラックスプラザの施設改修や機能強化等に向けた基礎調査を実施した。	アンケート	R6年7月～8月	川下公園利用者216名から回答が得られた	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		https://www.city.sapporo.jp/rvokuka/midori/forest/midorinoshingikai.html			
公園再整備に関する効果検証	令和5年度に再整備工事を実施した公園について、再整備による影響や効果の評価と分析を行うため、同公園周辺の住民にアンケートを行った。	アンケート	R6年7月～8月	再整備を行った11公園周辺に居住の市民2,400戸に対してアンケートを送付し、郵送またはオンラインによる回答が699件あり、再整備工事により公園の印象が良くなった。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		または、どちらかというと良くなったという回答が76.2%であった。			
札幌市緑の審議会	札幌市の緑の保全と創出に関する重要事項について審議した。	審議会	R6年5月14日、11月21日及びR7年3月13日	R6年5月14日は12名、R6年11月21日は14名、R7年3月13日は14名の委員が参加し、審議会を開催	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
		https://www.city.sapporo.jp/rvokuka/midori/forest/midorinoshingikai.html			
新規公園整備および既存公園再整備	市民ニーズを公園整備に反映させるため、基本設計や実施設計を行う際、周辺町内会などの住民を対象に意見交換会やアンケートを実施した。	意見交換会	随時	23公園について、意見交換会、アンケートまたはその両方を実施。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2525
		アンケート	随時	意見交換会:計26回実施、計217人参加 アンケート:計13回実施、計2,386人回答	
さつぼろふるさとの森づくり協定に基づく活動	みどり豊かな潤いのあるまちづくりを推進する一環として、市民や企業の方々の協働による、愛着を感じる森づくりを進めている。森づくりに対するさらなる意識向上を目指し、過去の植樹祭開催地において、企業主体の育樹活動を実施した。	育樹作業	R6年5月頃～R6年10月頃	7企業・団体が活動を実施した。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
		https://www.city.sapporo.jp/rvokuka/midori/forest/midorinoshingikai.html			
札幌水源の森づくり事業	林野庁北海道森林管理局と共催で、市民参加のもとバイオブロック苗木(カミネコン)をつくり、後日、札幌市民の水源である定山溪国有林へ植樹をするイベントを実施した。	バイオブロック作成、植樹	R6年8月頃～R6年9月頃	多数の市民参加を得て200本の苗木が作成され、定山溪国有林へ植樹された。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
		https://www.city.sapporo.jp/rvokuka/midori/forest/midorinoshingikai.html			

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
全国都市緑化フェア自治体出展花壇デザイン制作に係るワークショップ	令和7年度に岐阜県で開催される、第42回全国都市緑化ぎふフェアに自治体花壇を出展するにあたり、テーマ及びデザインを検討するため、ワークショップを開催した。	ワークショップ	R6年8月～ R6年11月頃	市内大学生6名が参加、全3回。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
	https://www.city.sapporo.jp/rvokuka/midori/machi/hanamidori/fair/index.html				
さっぽろタウンガーデナーによる各種事業協力	花と緑のまちづくりに携わるさっぽろタウンガーデナーから参加者を募り、市民協働による緑化の取組みを実施した。 ・本庁舎前おもてなし花壇のコンテナデザイン、植栽、維持管理 ・大通界限フラワーコンテナの植栽、維持管理	本庁舎前おもてなし花壇ボランティア参加 大通界限フラワーコンテナボランティア参加	R6年6月頃～ R6年9月頃 R6年6月頃～ R6年9月頃	ボランティア団体5団体27名が参加。 市民ボランティア8名が参加。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
	本庁舎前おもてなし花壇： https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/miryoku/omotenashikadan/index.html 大通界限フラワーコンテナ： https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/miryoku/odorikawai/index.html				
歩道美化事業	地域住民に花苗を提供し、街路樹ます等での花壇づくりを実施することで道路景観の向上を図った。また、歩道美化運動のさらなる高揚を図るため、ます花壇の優良製作者表彰を実施した。	街路樹ます等での花壇づくり及びメンテナンス	R6年5月頃～ R6年9月頃	1,004団体が参加し、370,666株の花苗を配布。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
	https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/chiiki/hodoubika/index.html				
マイタウン・マイフラワープラン	幼稚園や小学校、町内会などが街路樹ます等に植える花苗を自ら種から育てる取組に対し、種や資材による支援を行うことで、緑化意識の醸成と自主活動の促進を図る。一部、小学校で育てたフラワーボットを近隣企業に預けて管理してもらう取組も実施した。	花苗づくり及びメンテナンス 近隣企業によるフラワーボットの維持管理	R6年4月頃～ R6年9月頃 R6年5月頃～ R6年9月頃	市内の幼稚園6校、小学校67校、町内会等9団体が実施。 企業等18施設がフラワーボットの維持管理を実施。	建設局 みどりの推進部 みどりの管理課 011-211-2522
	https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/chiiki/mytown/2019/index.html				
中島公園の実証実験における市民意見の聴取	「中島公園未来への魅力継承プラン」策定に向け公園の魅力を活かした「魅力アップコンテンツ」の参加者等の意見を把握するべくアンケート調査を実施した。	アンケート	R6年10月24～26日	コンテンツ参加者560人から回答が得られた。	建設局 みどりの推進部 みどりの推進課 011-211-2533
出前授業	次世代の担い手となる子どもたちに、下水道について関心を持ってもらうことを目的として小学校への出前授業を実施する。	アンケート	R6年5月～10月	市内35校、約2300人の児童生徒に出前授業を実施した。 アンケート回収数：1242	下水道河川局 経営管理部 経営企画課 011-818-3452
下水道事業パネル展	9月10日の「下水道の日」関連行事として、普段意識されることの少ない下水道の役割について普及・啓発するためのイベントである。	アンケート	R6年9月頃	実施日：令和6年9月28日・29日 来場者数：2197人 アンケート回収数：1006	下水道河川局 経営管理部 経営企画課 011-818-3452
札幌市河川環境推進会議	よりよい河川環境を保全・創出するため、平成20年度に札幌市の川づくりの方向性を示す、札幌市河川環境指針を策定した。本指針が適切に推進されているかを検証するため、「札幌市河川環境推進会議」を開催している。また、会議の開催に先立ち、現地視察会を開催する。	現地視察会 会議	R6年10月頃 R7年1月頃		下水道河川局 事業推進部 河川事業課 011-818-3414
	https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/kankvoushishin/suisinkaiqi.html				
くらしと自然を豊かにする河川環境整備事業	小学生児童と共に、盤渓川にて現地活動を行い、河川環境について考える。	出前講座 現地活動 ワークショップ	R6年7月～8月頃 R6年7月～8月頃 R6年7月～8月頃		下水道河川局 事業推進部 河川事業課 011-818-3414

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
総合治水推進週間 現地視察会	伏籠川流域内(札幌市中央区の一部、北区、東区、石狩市)の小学校高学年とその保護者を対象とし、伏籠川流域の総合治水関連施設などの見学を行い、治水に対する理解を深めてもらう。	現地視察会	R6年 6月22日		下水道河川局 事業推進部 河川事業課 011-818-3414
	https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/sogochisui/sogochisui.html				
住まいの協議会	市長の諮問に応じ、札幌市における住宅に関する重要事項について調査審議する	審議会	R6年6月～R7年3月	1名が市民委員として参加し、計6回審議会を開催。	都市局 市街地整備部 住宅課 011-211-2806
	https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/08osirase/koumoku/sumainokuyougikaitoha.html				
札幌圏都市計画事業 篠路駅東口土地区画整理事業	JR札幌線の鉄道高架事業や道路整備事業と一体的に駅前広場や篠路駅東通、区画道路、公園等を整備する。土地区画整理法により事業ごとに土地区画整理審議会を設置することが定められており、土地区画整理上特別の扱いをする宅地や仮換地指定について審議する。	審議会	R6年6月27日	審議会委員6名が出席し、仮換地指定案についてご審議いただいた。	都市局 市街地整備部 区画整理事業担当課 011-211-2657
	https://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/index.html				
民間建築物耐震化促進 ・木造住宅耐震診断員派遣事業 ・木造住宅耐震改修工事等補助事業	旧耐震(昭和56年5月31日以前に建築されたもの)の木造住宅を対象に、耐震診断員を派遣する事業を実施した。また、耐震診断の結果、耐震性が不十分と診断された木造住宅の耐震設計・耐震改修工事・除却工事の支援を行った。合わせて、耐震改修工事に関するセミナー等の普及啓発を実施した。	セミナー	R6年8月21日	9名参加	都市局 建築指導部 建築安全推進課 011-211-2867
	https://www.city.sapporo.jp/toshi/k-shido/taishin/mokuzou.html				
札幌市建築基準法施行 条例の一部改正	令和7年4月に施行される改正建築基準法において木造建築物の構造強度に関する算定方法の見直しが行われることに伴い、条例における当該規定の見直しを行った。	パブリックコメント	R6年9月～10月	意見の提出あり(4件)	都市局建築指導部 管理課 011-211-2859
顧客調査アンケート	交通局の提供する安全というものに対する利用者のイメージやニーズを把握し、今後の安全管理活動に活かしていくことを目的として実施。	Webアンケート(局HP、X) Webアンケート(ポスター) 対面式アンケート	R6年6月～8月 R6年6月～8月 R6年6月11～13日	局HPとXにより展開し、529件回答 駅構内のポスターにより掲示し、139件回答 大通駅構内で職員が市民にヒアリングし、310件回答	交通局 高速電車部 業務課 011-896-2746
地下鉄南北線に関する 市民参加ワークショップ	札幌の地下鉄について知ってもらう機会として、今後車両更新を控えている南北線をテーマに、小学生向け及び大人向けのワークショップを実施。	ワークショップ	R7年3月15日	応募者の中から抽選を行い、小学生向け21名、大人向け39名の参加。	交通局 高速電車部 車両課・業務課 011-896-2751
札幌市営地下鉄に関する アンケート	高齢化社会の進展を踏まえ、地下鉄に関する高齢者のニーズを把握し、今後の地下鉄事業の運営に反映させるため、高齢者を対象としたアンケート調査を実施。	アンケート(紙)	R7年1月～3月	市内の介護予防センター利用者620名にアンケート用紙を配布、329名から回答を得た。	交通局 事業管理部 総務課 011-896-2708 交通局 高速電車部 業務課 011-896-2742
第2次札幌水道ビジョン	札幌市の水道事業の中長期計画である「札幌水道ビジョン」が令和6年度に最終年度を迎えることから、令和7年3月に、次期計画である「第2次札幌水道ビジョン」を策定した。	パブリックコメント	R6年12月23日～ R7年1月24日	意見提出者数15人、意見件数47件	水道局 総務部 企画課 011-211-7014
	https://www.city.sapporo.jp/suido/rivovsa/plan/shihvo/vision2.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
水道利用者意識アンケート	札幌市の水道事業に対する利用者の理解を深めるとともに、その意見・要望などを把握するために、水道利用者から3,000人を抽出し、隔年で実施しているアンケート調査。	アンケート	R6年6月7日～ R6年6月24日	回収数(率) 1,131人(37.7%)	水道局 総務部 総務課 011-211-7007
避難所運営体制づくりに取り組む地域への支援	災害時に円滑な避難所運営を可能とするため、地域住民や企業、基幹避難所である小・中学校等の協議により作成した避難所運営マニュアルに基づき、地域住民主体による運営訓練などの自主的な取組を引き続き支援いたします。	訓練、意見交換会	随時	意見交換、訓練を合わせて延べ950人程度が参加。	中央区 市民部 総務企画課 011-205-3205
まち巡り魅力体感事業 (アクションプラン2023計画事業)	中央区の地域資源に興味や愛着を抱き、まちづくり活動に参加したいという機運の一層の情勢を図るため、区内のスポット(地域資源)を巡りながら、地域の魅力を体感する周遊企画「ちゅうおうスタンプラリー2024」を実施した。	アンケート イベント参加	R6年9月3日～ R7年2月16日	区内4つのスポットを巡るスタンプラリーに加え、地域資源に関するクイズも同時に実施し、631人が参加。	中央区 市民部 地域振興課 011-205-3221
	https://www.city.sapporo.jp/chuo/machi/machizukuri/stampally2024/event.html				
中央区道路環境美化活動	区と市民団体が美化活動の内容について覚書を交わし、企業や町内会などの団体は清掃等の活動を、区は清掃用具の支給等により活動の支援を行う。	事業協力	R6年4月～R7年3月	地域団体64団体が道路清掃等を実施。	中央区 市民部 地域振興課 011-205-3221
	https://www.city.sapporo.jp/chuo/machi/machizukuri/adaputo2.html				
まちの魅力再発見事業 (市民との協働による「まちのモト」WEBサイト制作)	NPO法人札幌オオドリ大学及NPO法人ボロクルと協働で立ち上げたWEBサイト「まちのモト マップ」を媒体として、市民レポーターが自らまちを歩いて取材した情報のほか、地元民にも意外と知られていない地域の魅力をデジタルマップを使って発信する。	事業協力	R6年4月～R7年3月	区内のスポットの紹介記事7件を作成し、地域の魅力を発信した。 (うち市民レポーター作成記事4件)	中央区 市民部 地域振興課 011-205-3221
	https://machinomoto.jp/				
食をキーワードとした地域活性化事業	区民からレシピを募集し、それを区民に還元して食育の普及啓発をはかる。	アイデア募集 市民スタッフ 事業協力	1月 8月 11月	3団体からアイデアを収集し、レシピ集を発行 1団体(6人)が食育講座にて試食調理、提供 1団体(6人)が食育講座の調理実習にて、講師、サポートを務める。	中央区 保健福祉部 健康・子ども課 011-205-3352
地域団体・学校・企業・関係団体と連携した健康づくり支援事業	食育・健康づくりのアイデア集を作成する。そのため区内学校、ボランティア等からアイデアを募る。また、健康づくり・食育展の開催に事業協力を依頼する。	アイデア募集 事業協力	10月 11月	5団体から食育・運動アイデア収集し、啓発ツールを作成した 4団体と協力し運動・食育啓発のイベントを開催	中央区 保健福祉部 健康・子ども課 011-205-3352
すすきの地区における児童虐待予防に向けた見守り・支援ネットワーク事業	すすきを含めた周辺地域の主任児童委員等を対象に児童虐待に関する研修会を開催する。	意見交換	R6年12月13日	関係機関との座談会に、民生委員長1名、主任児童委員2名が参加し、意見交換。	中央区 保健福祉部 健康・子ども課 011-205-3352
子ども記者広報参加事業	区内の小学校に通学している児童から公募した広報記者が、広報係職員のサポートを受けながら、広報誌の企画立案から取材、編集作業までを行い、広報誌を制作する。	広報さっぽろ北区版の取材・制作等体験	R6年11月～R7年3月	小学生4人が参加し、広報さっぽろ北区民のページ2025年2月号を作成した。	北区市民部 総務企画課 広報係 011-757-2503
	https://www.city.sapporo.jp/kitaku/tetsuzuki/koho_senkyo/20240901.html				
北区アダプト・プログラム支援事業	北区内の道路などの清掃活動を希望する企業や団体を対象に、北区と各団体が覚書を交わし、協働による環境美化活動を推進します。	事業協力	R6年4月～R7年3月	新たに3団体と覚書を締結、清掃活動等により地域の環境美化に貢献した。	北区市民部 地域振興課 011-757-2407
	https://www.city.sapporo.jp/kitaku/tetsuzuki/sport_bunka/kitaku_adapt.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
ぼっぴいフェスティバル 2024	区民が交流するふれあいの場を創出し、多様な団体の参加を促し、団体の活動を発信する機会を設けるとともに、世代や地域を超えた幅広い交流を促すことを目的とした区民まつりを秋に実施しています。	ボランティアスタッフ	R6年9月21日(土)	ステージイベントやワークショップにおける演者や運営スタッフとして、多数のボランティアが参加した。	北区市民部 地域振興課 011-757-2407
		https://www.city.sapporo.jp/kitaku/machi/p-fes/2024/top.html			
北区健康づくり協議会	区民が主体的な健康づくりの活動を実現するため、地域、関係機関、企業、行政等と連携し、普及啓発や情報交換を行う。	情報交換	R6年5月		北区保健福祉部 健康・子ども課 011-757-1181
		情報交換	R7年3月		
		事業協力	R6年4月～R7年3月		
大学生広報記者	武蔵女子大学の学生が広報記者となり(大学カリキュラムの一環)、広聴係職員のサポートを受けながら、広報誌の企画立案から取材、編集作業を行い、広報さっぽろを制作する。	広報さっぽろ北区版の取材・制作等体験	R6年7月～R7年1月	大学生7人が参加し、広報さっぽろ北区民のページ2025年1月号を作成した。	北区市民部 総務企画課 広聴係 011-757-2503
		https://www.hmu.ac.jp/news-news/3257/			
ひがしくっぴー・タッピーコンサート出演候補者選考委員会	「ひがしくっぴー・タッピーコンサート」の出演者を区内の音楽関係者、文化団体、学識経験者等により構成された選考委員会により選考する。	出演候補者選考委員会	R6年4月実施済み	出演候補者選考委員会を1回実施。	東区 市民部 地域振興課 011-741-2429
		https://www.city.sapporo.jp/higashi/concert/happytappytop.html			
東区まち美化プログラム	区と市民団体が美化活動の内容について覚書を交わし、これに基づいて市民団体は清掃等の活動を、区は清掃用具の支給等により活動の支援を行う。	事業協力	R6年4月～R7年3月	地域団体30団体が毎月1回程度道路清掃等を実施。	東区 市民部 地域振興課 011-741-2429
		https://www.city.sapporo.jp/higashi/machibika/index.html			
タッピーフレンズ事業	地域貢献活動(東区の活性化及び発展に資する活動)を行う意志を有する企業・教育機関・その他団体を東区の特別な仲間「タッピーフレンズ」と位置付け、活動内容の広報や企業等及び区民相互の連携促進等を通じて地域貢献活動の普及拡大及び東区の活性化を図る。	交流会	R6年8月29日	タッピーフレンズ交流会を開催(29団体、51名が参加)	東区 市民部 地域振興課 011-741-2429
		事業のアイデア募集	R6年4月～R7年3月	通年を通して募集。地域貢献活動に関するラジオ放送や、学生のキャリア支援イベントでの東区の魅力PR等のアイデアを受け、実現につながった。	
		事業協力	R6年4月～R7年3月	都度のメール及び交流会の場での情報共有を通し、区との連携等の希望を随時募集し、新たに延べ24団体の事業への連携・協力を得た。 ※区の主催事業、地域行事及び前述のラジオ放送等を含む。	
https://www.city.sapporo.jp/higashi/friends/index.html					
東区地域連携魅力創出・発信事業	区が主導して区内の企業・学校等の連携を促し、東区ならではの魅力資源(特産品・サービス等)の開発援助によりブランド化の環境を整えることで、区民のシビックプライドを醸成し、地域交流の促進、区の魅力強化及び地域全体の活性化を図る。	事業協力	R7年2月8日	タッピーフレンズ等7団体の連携・協力を得て、初開催となる職業体験イベントを開催した。 (イベント参加者:区内小学生129名)	東区 市民部 地域振興課 011-741-2429
		意見交換会	R7年1月23日 R7年2月26日	今後の効果的な事業実施に向け、東区ならではの特別な体験及び効果的な広報手法について延べ5団体との意見交換を実施した。	
https://www.city.sapporo.jp/higashi/friends/miryoku/top.html					
健康・スポーツを生かした地域活性化事業	健康増進やスポーツ関連の知見を有する企業・団体等と連携し、連合町内会等の住民組織にも参画してもらいながら、未来を担う子ども・若者たちから健康寿命延伸を目指すシニア層まで幅広い世代の区民が気軽に健康・スポーツに触れる機会を創出することによって、スポーツへの興味喚起や心身の健康に関する意識の向上を促す。	事業協力	R6年7月～R7年2月	タッピーフレンズに参加している団体のうち、延べ7団体の連携・協力を得て4つの健康・スポーツイベントを実施した。(イベント参加者:計505名)	東区 市民部 地域振興課 011-741-2429
		https://www.city.sapporo.jp/higashi/friends/sports/tappy_wellness.html			

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
白石区複合庁舎にぎわい協働プロジェクト事業	白石区複合庁舎のまちづくりイベント広場を活用して、区民や関係団体との協働により、賑わいを創出するイベントを開催するとともに、まちづくり団体のネットワークづくりを支援する。	利活用協議会	R7年3月17日	まちづくり広場の活用に関し検討を実施	白石区 市民部 地域振興課 011-861-2422
	https://eventhiroba.com/				
厚別区健康づくり懇話会	区民の生涯を通じた健康の実現を目指し、区民一人ひとりの主体的な健康づくり活動を推し進めるため、地域組織・自主活動グループ等の連携を強化し、「健康あつべつ宣言」に基づいた健康づくりの取り組みを推進することを目的として、関係機関・関係団体と健康づくり事業の普及啓発に係る協議及び情報交換を行う。	運営委員会 総会	R6年6月 R7年3月	12名が参加。令和6年度の健康づくり事業計画を説明し、意見交換を実施した。 15名が参加。令和6年度の健康づくり事業報告及び令和7年度の健康づくり事業について意見交換を実施した。	厚別区 保健福祉部 健康・子ども課 011-895-1881
あつべつ健康・福祉フェスタ実行委員会	健康づくりの実践及び疾病予防の大切さを普及啓発するための健康イベントである「あつべつ健康・福祉フェスタ」の企画・運営のため、関係団体、ボランティア及び行政が情報交換を行い、相互の連携を深めることにより、地域における保健福祉のネットワーク化を図り、効果的に保健福祉活動が実施できる環境整備を目指す。	実行委員会 実行委員会 実行委員会	R6年6月 R6年8月 R6年12月	22名が参加。令和6年度の健康・福祉フェスタ開催方針について意見交換を実施した。 20名が参加。健康・福祉フェスタの開催に係る役割分担、具体作業について意見交換を実施し、本番に向け、情報共有を図った。 18名が参加。健康・福祉フェスタの実施結果を踏まえた意見交換を行い、来年度以降の課題を整理した。	厚別区 保健福祉部 健康・子ども課 011-895-1881
豊平区アダプト制度	本来、行政が維持管理すべき豊平区内の道路等の公共物を対象に豊平区との役割分担に基づき、市民が主体的かつ自主的に環境美化に取り組んだ。	事業協力	通年	参加者：豊平区内の町内会及び企業(全10団体) 内容：道路清掃や花壇整備、冬期間の砂撒き等	豊平区 市民部 地域振興課 011-822-2427
	https://www.city.sapporo.jp/tovohira/machi/adopt.html				
とよひらまちづくりパートナー制度	まちづくり活動への参加意欲を持った企業と、町内会などの地域団体とが一緒に地域活動に取り組むことで、新たなまちづくり活動の担い手を発掘するとともに、地域における「顔が見える関係」づくりを進めた。	事業協力	通年	参加者：とよひらまちづくりパートナー登録団体(63団体)、区内町内会等 内容：交通安全街頭啓発、地域行事の運営協力等	豊平区 市民部 地域振興課 011-822-2427
	https://www.city.sapporo.jp/tovohira/machi/partner/index.html				
西岡福住健康セミナー	西岡・福住地区の住民を対象とした健康づくりイベントであり、西岡・福住地区の女性部が主体となり健康測定体験等を実施。区は関係機関との連絡調整や機器の貸出等の支援を実施。	事業主催 市民スタッフ	R6年9月25日	参加者：254名 内容：測定体験コーナー、健美操など	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
健康フェア東月寒	東月寒町連、福祉のまち推進センター等が主体となり実施している健康づくりイベントであり健康測定体験等を実施。区は関係機関との連絡調整や健康測定機器の貸出等の支援を実施。	事業主催 市民スタッフ	R6年10月12日	参加者：212名 内容：測定体験コーナー、食改、防災、ポッチャ等	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
中の島健康セミナー	中の島地区町連、町連福祉部が主体となり医師による講演会などを実施。区は関係機関との連絡調整等の支援を実施。	事業主催 市民スタッフ	R6年10月30日	参加者：34名 内容：医師の講話、測定体験コーナー	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
南平岸健康セミナー	南平岸地区福祉のまち推進センター、まちづくり会「いきいき南平岸」が主体となり医師による講演会などを実施。区は関係機関との連絡調整等の支援を実施。	事業主催 市民スタッフ	R6年11月8日	参加者：38名 内容：医師の講話、測定体験コーナー	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
つきさぶ健康フェア	認知症をテーマに、歯科医師による講話、測定コーナー、歯科相談、お薬相談コーナー、食関連コーナー、介護予防コーナー、簡易版認知症検査、ウォーキングパネル展示等を実施。	事業主催	R6年9月13日	参加者:130名	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
		市民スタッフ		内容:歯科医師の講話、測定体験コーナー、相談等	
元気ハツラツ広場	美園地区町内会連合会、福祉のまち推進センターが主体となり実施している介護予防イベント。区は健康測定機器の貸出・測定等の支援を実施。	事業主催	R6年12月20日	参加者:33名	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
		市民スタッフ		内容:ヤクルトの講話、測定体験コーナー、ポッチャ等	
参加型ウォーキングイベントの開催	ウォーキングの普及啓発と健康づくりを目的として、豊平区民を対象とし、参加型ウォーキングイベントを歩数計アプリを使ったオンラインイベントとして年単位で実施。	イベント参加	R7年3月～	参加者:316名(4/21現在)	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
			年単位で実施	内容:歩数計アプリを使い月ごとの歩数で競争	
とよひら”風土”ネット会議	区民への食育の普及啓発を目的として、関係機関が情報交換を行うため開催した。	会議	R6年10月25日	委員6名が参加。	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2472
				豊平区の食育について、情報交換を行い、	
				今後の方針について確認した。	
	https://www.city.sapporo.jp/toyohira/health_center/health_care/foodcollection/home.html				
げんき雪んこまつり	地域と子育て家庭とのつながりを深めるため、中の島地区の子育て支援関係機関、団体が実行委員会を設置し開催する。乳幼児(親子)・小学生が、地域住民やボランティアとともに冬の遊びを体験し、事業を通じて地域の様々な世代間の交流を図る。	準備会議	R6年10月8日	R7年1月9日に実施。当日は大人45名、	豊平区 保健福祉部 健康・子ども課 011-822-2474
		実行委員会	R6年12月9日	乳幼児43名、小学生63名が参加。地域支	
		実施当日スタッフ参加	R7年1月9日	援者19名、学生ボランティア60名がスタッフ	
		実行委員会	R7年2月19日	として参加。	
窓口改善に向けた意見交換会	豊平区戸籍住民課における多様な市民への対応力向上を図るため、外国籍市民に転入手続きのシミュレーションを行い、意見を聴取し、コミュニケーションシートの作成に役立てる。	意見交換会	R7年1月29日	区内日本語学校の学生3名及び教職員1名と転入手続きの不明点、改善点などについて意見交換を行い、英語ややさしい日本語による説明・案内資料の必要性や有効性について把握した。	豊平区 市民部 戸籍住民課 011-822-2436
Fan×Fun Sports in きよた	子どもたちを中心とした清田区民にスポーツを楽しむ機会と、スポーツを好きになるきっかけを提供することを目的に、清田区体育館を会場に各種スポーツ体験を実施する	事業主催	R7年2月	清田区のスポーツ団体など15団体が競技運営を実施	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
	https://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/sports/fun_fan_sports.html				
きよたマルシェ	区役所周辺の賑わいづくり及び清田区の魅力を発信する取組として、地元農家による農産物の直売イベントを実施する。	事業協力	R6年4月～R7年3月	地元8農家が参加	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
	https://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/marufes/top.html				
清田ふれあい区民まつり	他世代間の交流を通じて、清田区民が地域を良くしていこうとする意欲と郷土愛醸成の一助とすることを目的として、地域の各種団体と清田区で実行委員会を設立し、清田区市民交流広場でイベント・アトラクション等を実施する。	実行委員会	R6年5月～R6年11月	5月19日22名、6月27日23名、11月21日19名の市民が参加	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
		企画・財務部会幹事会	R6年4月～R6年10月	3月19日3名、4月16日3名、	
				6月13日4名、11月11日4名の市民が参加	
	https://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kumin-matsuri.html				
きよたウインターフェスティバル	地域交流拠点清田の中心である区役所市民交流広場において冬のイベントを開催することにより、賑わいを創出し、市民交流広場の認知度向上や冬季間における交流人口増を目指す。	事業協力・市民スタッフ	R7年1月25日～R7年1月26日	イベント当日、ブース運営等に携わって	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
				いただいた	
	https://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kiyotawinterfes.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
ホテル観賞事業	区民の環境保全意識の向上等を目的として、NPO法人札幌清田ホテルの会の協力のもと、区役所裏のホテル池にてホテル観賞イベントを開催する。	事業共催 市民まちづくり活動団体への事業委託	R6年7月12日～14日	イベント当日、準備、場内案内や観察会等に携わっていただいた	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
	https://www.city.sapporo.jp/kivota/chiiki-shinko/hotaru/hotaru.html				
清田区アダプト・プログラム	地域住民や企業などが実施する区内の歩道スペースにおける環境美化活動について、区が清掃用具の提供などの支援を行う。	事業協力	年間	22団体が参加	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
	https://www.city.sapporo.jp/kivota/chiiki-shinko/adopt.html				
旧国道36号線関連事業	地域の魅力である旧国道36号線沿いあしりべつ桜並木通りの活用促進及び魅力アップを目的として、花壇整備、清掃活動等を実施する。	事業協力	R6年6月14日 R6年9月10日	旧国道36号「あしりべつ桜並木通り」で花植え9団体45名が参加 旧道の日 景観アップ活動8団体36名と清田小児童が参加	清田区 市民部 地域振興課 011-889-2024
きよた地域防災力強化事業 (アクションプラン2023計画事業)	区職員と地域住民の連携により、避難所開設の手引きの作成のため、簡易の避難所開設訓練を実施することで、地域住民に避難所開設の知識を付与しつつ、早期に区内すべての基幹避難所の手引を整備し、地域防災力の強化・向上を図る。	訓練参加 アンケート	R6年7月31日 三里塚小学校 R6年8月19日 清田緑小学校 R6年8月20日 平岡中央小学校 R6年8月22日 真栄中学校	里塚・美しが丘地区の住民11名が参加 清田中央地区の住民10名が参加 平岡地区の住民5名が参加 清田地区の住民 8名が参加	清田区 市民部 総務企画課 011-889-2006
清田区防災訓練	迅速に避難所を開設・運営する必要がある場合を想定し、地域特性を踏まえ、区職員と地域住民の連携により、迅速に避難所を開設・運営する訓練を実施することで災害対応力の向上を図る。	訓練参加 アンケート	R6年10月5日	当番地区の北野地区住民と他4地区の住民54名が参加	清田区 市民部 総務企画課 011-889-2006
防災研修	研修を通じて自主防災活動に必要な知識や技術を有する人材を育成することで、地域の防災力向上につなげることを目的とする。	研修参加 アンケート	R7年3月19日	防災に関心のある清田区民39名が参加	清田区 市民部 総務企画課 011-889-2006
ミナミナク・アートプロジェクト・サポーター	若者をはじめとした市民がより気軽に南区のまちづくり活動に参加できるサポーター制度を運用。サポーターは各種イベントの運営補助、フライヤーやアーティスト取材記事の作成等を実施。	市民スタッフ 市民まちづくり活動団体への事業委託	R6年6月～R7年3月 R6年6月～R7年3月	登録38名、参加延べ83名 サポーター活動支援業務をNPO法人に委託	南区 市民部 地域振興課 011-582-4723
	https://sapporo-minami-artfes.jp/				
西区防災訓練	行政、防災関係機関及び地域住民が連携し、防災力の向上を図るため、避難所開設訓練等を行う。	訓練参加	R6年9月27日	琴似地区、二十四軒地区、二十四軒東地区、山の手地区を対象に実施し、39名が参加した。	西区 市民部 総務企画課 011-641-6921
西区防災実技研修	町内会が行う自主防災活動を推進し、地域防災力の強化を図るため、防災資機材の取扱方法や応急手当などを学ぶ研修を行う。	研修参加	R6年11月2日	ちえりあで実施し、86名が参加した。	西区 市民部 総務企画課 011-641-6921
エコまち西区推進事業	住民による環境活動が定着・継続・発展するまち(通称「エコまち」)を実現するため、区民協議会である「西区環境まちづくり協議会」の活動を支援し、環境活動によるまちづくりを推進する。	会議 各種イベントへの実施・協力	R6年12月、R7年3月 R6年6月～R7年2月	R6年12月は8名、R7年3月は20名が委員・事務局として参加し、計2回会議を開催。 イベントを計44回実施し、3,368名が参加。	西区 市民部 地域振興課 011-641-6926
	https://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/kankyo-kyogikai/top.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
	HPアドレス				
西区アダプト・プログラム	地域住民や企業などの団体が、道路や公園などを自主的に清掃活動し、それに対し行政が清掃道具の提供、傷害保険の加入等さまざまな支援を行い、地域の活動をサポートしている。	事業協力	通年	地域団体59団体が道路清掃等を実施。	西区 市民部 地域振興課 011-641-6926
	https://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/adopt/adopt_pg.html				
西区スポGOMI大会	ごみ拾いにスポーツの競技性を加えた、楽しみながら西区のまちを美しくする活動。エリア内を巡回して落ちているごみを拾い、ごみの種類や重さによるポイントで順位を競い合う。	事業協力	R6年6月22日	65人が参加	西区 市民部 地域振興課 011-641-6926
	https://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/supogomi/supogomitop.html				
広報さっぽろ手稲区版 令和6年5月号～令和7 年3月号	手稲区在住または手稲区に通学・通勤している方から「ていね川柳」を募集。手稲区が毎月1作品を選び、広報さっぽろ手稲区版(お知らせページの端の部分)で紹介。	アンケート	R6年4月～R7年1月	計8作品を掲載	手稲区 市民部 総務企画課 011-681-2432
広報さっぽろ手稲区版 令和6年5月号～令和7 年3月号	手稲区在住または手稲区に通学・通勤している方から「ていね四コマ」を募集。手稲区が選んだ作品を、広報さっぽろ手稲区版(お知らせページ)で紹介。	アンケート	R6年4月～R7年1月	応募なし	手稲区 市民部 総務企画課 011-681-2432
広報さっぽろ手稲区版 令和6年7月号～令和7 年3月号	手稲のまちをより良くする活動をしている「まちづくりヒーロー」を募集。手稲区が選んだ方を取材し、広報さっぽろ手稲区版(お知らせページ)で紹介。	アンケート	R6年6月～R7年1月	計5人(団体含む)を紹介	手稲区 市民部 総務企画課 011-681-2432
広報さっぽろ手稲区版 令和7年1月号	令和7年度の広報さっぽろ手稲区版で特集してほしいテーマについて、読者からの意見を募集。	アンケート	R7年1月	計840件の回答あり	手稲区 市民部 総務企画課 011-681-2432
手稲区区民協議会「てい ねっていいね！区民の 集い」	区内の住民組織をはじめとした区内54団体の代表者により構成し、「手稲区民がまちづくりを共に考え、行動することを通じて、区民が主役となり、愛着や誇りを共有できる“ふるさと手稲”づくりを推進する」ことを目的に、平成17年度設立。「安全・安心なまちづくり」、「区の魅力づくり」をテーマとし、活動している。	協議会 講演会への参加	R6年6月26日 R7年3月5日	構成団体のうち、43団体(33人)の代表者が出席。 構成団体に加え構成団体以外の市民にも案内し、41人が参加。	手稲区 市民部 総務企画課 011-681-2432
	https://www.city.sapporo.jp/teine/machi/tudoit/tudoitop.html				
児童生徒との意見交換	教育長及び教育委員による授業視察や児童生徒等との意見交換を実施した。	意見交換会	R6年7月22日、R6年9月19日	教育長及び教育委員で実施。	教育委員会 総務部 総務課 011-211-3825
地域学校協働活動推進 事業	子どもたちを対象に、地域の力を生かした多様な学びや体験機会を提供するとともに、活動を通じて地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援するための事業。社会教育委員会(学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者及び学識経験者から構成)において、事業の実施方針の検討、事業の検証・評価等を行った。	附属機関 (社会教育委員会議) 附属機関 (社会教育委員会議)	R6年8月20日 R7年3月14日	出席者9名 地域学校協働活動推進事業の概要及び令和6年度実施方針について説明 出席者8名 地域学校協働活動推進事業令和6年度実施状況及び令和7年度実施方針案についての評価・検証を実施	教育委員会 総務部 生涯学習推進課 011-211-3872
	https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoku/renke/saturday/index.html				

令和6年度 市民参加の実施結果一覧

条例、計画、事業等の名称	内容	市民参加の実施方法	実施時期	実施結果	担当局部課 電話番号
HPアドレス					
社会教育委員会	社会教育法第15条の規定に基づき教育委員会が委嘱した社会教育委員による会議。社会教育行政に広く各方面の良識と経験を反映させることを目的に会議を開催し、協議内容を教育委員会へ報告した。	附属機関 (社会教育委員会)	R6年8月20日	出席者9名 下記内容について意見をいただくとともに協議を実施 ①今期の社会教育委員会会議の進め方について ②地域学校協働活動推進事業について	教育委員会 総務部 生涯学習推進課 011-211-3872
		附属機関 (社会教育委員会)	R6年11月22日	出席者10名 下記内容について意見をいただくとともに協議を実施 ①第3次札幌市生涯学習推進構想について ②地域学校協働活動とおした地域づくりについて	
		附属機関 (社会教育委員会)	R7年1月23日	出席者10名 下記内容について意見をいただくとともに協議を実施 ①地域学校協働活動とおした地域づくりについて	
		附属機関 (社会教育委員会)	R7年3月14日	出席者8名 下記内容について意見をいただくとともに協議を実施 ①令和7年度札幌市教育費予算について ②令和6年度野外教育総合推進事業実施報告について ③地域学校協働活動推進事業令和6年度実施報告及び令和7年度実施方針案について ④地域学校協働活動とおした地域づくりについて	
https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoku/gakushu/suishin/iin.html					
学校規模適正化推進事業	「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」に基づく取組地域において、保護者や地域の方々、学校関係者などから構成される「学校配置検討委員会」等を開催するなどし、学校規模の適正化に向けた取組を進めた。	検討委員会	R6年6月～R7年3月	東区、豊平区、南区の6地区で各4回開催	教育委員会 学校支援担当部 学校施設課 学校配置マネジメント 担当 011-211-3836
https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tekisei1.html					
学校新改築事業	令和6年度に新改築基本設計を実施する学校について、学校関係者、保護者、地域住民等の代表及び行政による協議会、住民説明会を開催するなどし、施設づくりに対する意見を聞いた。	協議会 住民説明会	R6年8月～12月 R6年11月～12月	改築事業校2校において各2回実施 改築事業校2校において各1回実施	教育委員会 学校支援担当部 学校施設課 学校配置マネジメント 担当 011-211-3836
「札幌市学校施設維持更新基本計画」の策定	学校に係る環境が大きく変化する中で、将来にわたり学校施設を維持していくため平成28年度に策定した当初計画を改定した。	パブリックコメント ・キッズコメント	R6年10月29日 ～R6年11月29日	パブリックコメントでは25人から47件の意見が、キッズコメントでは355人から601件の意見が提出された。	教育委員会 学校支援担当部 学校施設課 学校配置マネジメント 担当 011-211-3836
		出前講座	R6年11月27日 R6年12月5日 R6年12月6日	小学校1校(6年生3クラス80人程度)、中学校2校(2年生3クラス各120人程度)で実施。グループワーク等を通じて本計画に対する意見交換を行った。	
		https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/iikoshin.html			
図書館等利用者アンケート	各図書館施設において、図書館サービスに関する満足度調査を実施した。	アンケート	R6年10月1日 ～R6年10月31日	中央図書館、地区図書館9館、えほん図書館、図書・情報館で実施。2,380人にアンケートを配布し、2,182人から回答(回答率91.7%)。	教育委員会 中央図書館 運営企画課 011-512-7330
		アンケート	R6年9月～R6年12月	区民センター及び地区センター図書室等25施設で実施。1,300人にアンケートを配布し、947人から回答(回答率72.8%)。	
https://www.city.sapporo.jp/toshokan/guide/liv/top.html					
「(仮称)こども本の森」基本方針の策定	令和8年夏頃に開館を予定し、札幌市が運営に参画する子ども向け図書施設「(仮称)こども本の森」について、運営の方向性を定める基本方針を策定した。	パブリックコメント ・キッズコメント	R6年12月24日～R7年 1月28日	パブリックコメントでは14人から39件の意見が、キッズコメントでは911人から1,080件の意見が提出された。	教育委員会 中央図書館 事業推進担当課 011-512-7330
		意見交換会	R6年7月22日 R6年9月19日	教育委員会の学校視察において、「(仮称)こども本の森」を紹介し、小学生34名、中学生21名と意見交換を行った。	
		https://www.city.sapporo.jp/toshokan/guide/liv/top.html			